

2014

 兵庫県立
尼崎病院のご案内

～県立塚口病院との統合再編成に向けて～



日本医療機能評価機構認定病院・地域医療支援病院

1 理念・基本方針



理 念

高度・良質な医療による社会貢献

運営の基本方針

- 1 地域の中核病院としての「高度専門・救急医療」
- 2 患者・医療者、お互いの「納得医療&安全医療」
- 3 救急、紹介を「断らない医療」
- 4 住民・患者・医療者・行政が全体で1つの「地域医療」
- 5 医療水準向上のための「教育、臨床研究、自己研鑽」

当院の診療上の特色

〈高度専門・救急医療〉

- DPCI群病院
- 県指定がん診療連携拠点病院
- 充実した医療体制: 多い医師数(203人/500床)、手厚い看護(7対1看護)、電子カルテ
- 臓器・疾患別センターにおける集学的治療
 - ・ 循環器センター: 心臓・血管病の高度な処置・手術&24時間の救急
 - ・ 消化器センター、呼吸器センター、神経・脳卒中センター、腎・透析センター、糖尿病・内分泌センター等: がん・生活習慣病・感染症・救急等の高度医療
- 複数のICUを有した専門性の高い救急・集中治療
- 全人的・総合的診断・治療のためのER総合診療科
- 伝統的に高難度な手術を手がける眼科

〈納得医療&安全医療〉

- インフォームドコンセント、セカンドオピニオン、クリニカルパスの充実
- 予約制による「待たせない医療」
- ヒヤリハット分析による「安全医療」

〈断らない医療〉

- 各診療科の充実と当直体制の整備

〈地域医療支援病院〉

- 地域医療連携センターを中心とした紹介・逆紹介の推進
- 住民・患者・医療者・行政との協体制、互いの短所を補い長所を伸ばす「棲み分け・助け合い医療」

〈教育、臨床研究、自己研鑽〉

- 厚生労働省指定管理型臨床研修病院、卒後臨床研修評価機構認定病院
- 治験・臨床研究センター、CPC、国内&海外での学会発表

〈漢方内科・県立東洋医学研究所〉

- 東西両医学の融合

〈神経難病治療〉

- 難病医療拠点病院
- 兵庫県難病相談センター: 難病の療養相談・在宅支援

〈日本医療機能評価機構認定病院〉

2 病院の概要

名 称	兵庫県立尼崎病院
開 設 者	兵庫県
病 院 長	藤原 久義
副 院 長	水野 恵文・鷹津 良樹・佐藤 慎一
副院長兼看護部長	平山 ミツヨ
診 療 部 長	平林 正孝
所 在 地	〒660-0828 兵庫県尼崎市東大物町1丁目1番1号
T E L	06-6482-1521
F A X	06-6482-7430
病 床 数	500床（第2類感染病床 8床）
建 築	敷地面積 17,928m ² 建築面積 7,960m ² 延床面積 33,348m ² （地上8階・地下1階）
活 動 成 績	平成25年度 延べ外来患者数……………288,641名 初診外来患者数……………19,507名 延べ入院患者数……………167,667名 新入院（実入院）患者数…12,121名 退院患者数……………12,116名 紹介率……………72.4% 逆紹介率……………67.6% 平均在院日数……………12.8日 病床利用率……………91.9% 年間救急患者数……………7,654名（うち、救急搬送 3,519名） 年間手術数……………5,524件
職 員 数 （非常勤を含む） （平成26年5月1日現在）	医師数……………222名（うち 日々雇用 18名、専攻医 66名、研修医 32名） 看護師数……………703名（常勤 541名、非常勤 162名） 薬剤師数……………27名（常勤 24名、非常勤 3名） 医療技術員…139名（常勤 97名、非常勤 42名） 事務員……………91名（常勤 29名、非常勤 62名） その他……………42名（常勤 28名、非常勤 14名） （計 1,224名）

3 取り扱い保険・学会の施設認定

取り扱い保険

保険医療機関
労災保険指定病院
自立支援医療指定病院(更生・育成・精神)
生活保護指定病院
結核指定医療機関
養育医療指定病院
戦傷病者特別援護法指定病院
公害医療機関
原子爆弾被爆者医療指定病院
特定疾患治療研究実施医療機関
小児慢性特定疾患治療研究実施医療機関

認定施設

厚生労働省指定基幹型臨床研修病院
厚生労働省臨床修練指定病院
日本医療機能評価機構認定病院
兵庫県指定がん診療連携拠点病院
地域医療支援病院
卒後臨床研修評価機構認定病院
エイズ拠点病院
第二種感染症指定病院

学会の認定施設

日本内科学会認定専門医教育病院
日本呼吸器学会認定施設
日本呼吸器内視鏡学会専門医診療施設
日本老年医学会認定施設
日本消化器病学会指導施設
日本消化器内視鏡学会指導施設
日本循環器専門医研修施設
胸部・腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
日本禁煙学会認定教育施設
日本小児循環器学会専門医修練施設
日本腎臓学会研修施設
日本透析医学会認定施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本神経学会教育施設
日本脳卒中学会研修教育施設
日本血液学会認定研修施設
日本高血圧学会専門医認定施設
日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会認定病院
日本胸部外科学会認定施設
呼吸器外科専門医認定機構基幹施設
日本心臓血管外科専門医認定修練基幹施設
日本脳神経外科学会専門医訓練施設
日本心血管インターベンション学会認定研修施設
日本乳癌学会認定医専門医制度研修施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本整形外科学会認定医制度研修施設
日本形成外科学会認定施設
日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設(咽喉系)
放射線専門医修練協力機関
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本病理学会認定病院
日本東洋医学会専門医教育施設
認定臨床微生物検査技師制度研修施設
日本静脈経腸栄養学会・NST稼働施設
被ばく線量低減推進施設
心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医認定施設
日本救急医学会救急科専門医訓練施設

4 沿 革

- 昭和 11 年 10 月 尼崎市北城内において県立西宮懐仁病院尼崎分院と称し、病床数 12 床をもって開設
診療科目は、内科、外科、産婦人科、耳鼻咽喉科
- 昭和 13 年 4 月 県立尼崎懐仁病院と改称
- 昭和 22 年 5 月 県立尼崎病院と改称
- 昭和 26 年 12 月 鉄筋コンクリート造り 3 階建を増築し、病床数 300 床となる
整形外科、皮膚科、理学診療科を開設
- 昭和 28 年 10 月 県立尼崎病院塚口分院を開設
- 昭和 33 年 1 月 総合病院となる
- 昭和 34 年 3 月 全館鉄筋化年次計画による第 1 期工事として鉄筋コンクリート造り 5 階建第 1 病棟完成
- 昭和 36 年 9 月 一般 392 床、結核 36 床、計 428 床に変更
- 昭和 38 年 10 月 第 3 期工事により、鉄筋コンクリート造り 7 階建第 3 病棟完成、一般 425 床、結核 36 床、計 461 床になる
- 昭和 40 年 10 月 第 4 期工事により、鉄筋コンクリート造り 4 階建本館診療棟完成、一般 451 床、結核 36 床、計 487 床になる
- 昭和 43 年 4 月 アイソトープ検査室を設置し、名実ともに阪神地域基幹病院としての体制強化を図る
- 昭和 46 年 4 月 厚生省より臨床研修病院として指定を受ける
- 昭和 47 年 4 月 自治省より兵庫県内公立病院の中心病院として当院が指定される
- 昭和 49 年 10 月 塚口分院が県立塚口病院として独立
- 昭和 52 年 4 月 東洋医学研究室が県立東洋医学研究所として独立。同付属診療所を設置
- 昭和 54 年 3 月 結核病床 36 床を一般病床に変更、一般病床 498 床になる
- 昭和 59 年 2 月 病院移転改築による新病院建設着工
- 昭和 61 年 10 月 病院竣工
- 昭和 61 年 10 月 現在地に新病院オープン。病床数 500 床となり、オーダリングシステム全面稼働
- 昭和 62 年 12 月 開放型病院として承認され、病診連携システムの先駆となる
- 昭和 63 年 3 月 厚生省より臨床修練指定病院として認可される
- 平成 2 年 10 月 難病センターを設置
- 平成 12 年 2 月 日本医療機能評価機構による認定証を得る
- 平成 15 年 4 月 循環器科を開設
- 平成 18 年 1 月 日本医療機能評価機構の定める認定基準に達していることの承認を得る
- 平成 19 年 2 月 一般病床 500 床を一般病床 492 床、感染症病床 8 床に変更
- 平成 19 年 4 月 呼吸器科、脳神経外科、呼吸器外科を開設 産婦人科を廃止
- 平成 19 年 6 月 7:1 入院基本料の取得
- 平成 21 年 1 月 卒後臨床研修機構の定める認定基準に達していることの承認を得る
- 平成 21 年 4 月 呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児循環器内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、感染症内科、乳腺外科、病理診断科を開設
呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科を廃止
- 平成 21 年 12 月 地域医療支援病院の承認
- 平成 22 年 3 月 人間ドック 4 床を廃止
- 平成 22 年 6 月 日本医療機能評価機構の定める承認基準に達していることの認定を得る
- 平成 22 年 9 月 兵庫県指定がん診療連携拠点病院に指定
- 平成 23 年 3 月 東洋医学研究所附属 相原鍼灸院廃止

5 アクセス

- 病院所在地 兵庫県尼崎市東大物町1丁目1-1
- 電話 06-6482-1521(代表)
- FAX 06-6482-7430
- インターネットホームページ <http://www.amahosp.amagasaki.hyogo.jp/>
- 位置図

阪神電車
「大物駅」下車、東へ歩道橋を渡りエスカレーターおりてすぐ。

J R
「尼崎駅」下車、南へ徒歩20分。

バス
JR尼崎駅より「阪神杭瀬行」又は、「コスモ工業団地行」乗車。「県立尼崎病院前」下車。(7分程度)

● 車利用

神戸方面より
阪神高速3号神戸線尼崎西出口→国道43号線を東へ4km程度→産業道路(県道13号線)交差点に「県立尼崎病院」の表示あり→国道43号線の測道を東へ→大物線「東本町」交差点を左折→阪神電車の高架をくぐる→向かって右に病院(茶色の建物)がみえます。

大阪方面より
阪神高速3号神戸線尼崎東出口を西へ→最初の信号を右折→阪神電車の高架をくぐる→向かって右に病院(茶色の建物)がみえます。

※病院内外来駐車場は混雑しますので、公共交通機関でのご来院をお勧めします。

6 外来診療のご案内

かかりつけ医

事前予約



体の異常に気付いた時には、先ず「かかりつけ医」に受診することをお勧めします。



かかりつけ医にて

地域医療連携センター
FAX、又は、h-Anshinむこねっと



患者自身にて

外来予約センター
(診察のみ)



症状出現

紹介状なく、直接外来へ

- 診察・検査の時間予約
- カルテの作成準備

事前予約なく
直接外来へ

紹介 紹介状の持参

× 紹介状なし

指定日時に来院され、初診窓口の地域医療専用受付へ申し出るだけで受診および検査が可能です。



当日に初診受付にて、診察予約をされ、その指定時間に診察させていただきます。

(ご希望の診察時間が、予約できない場合があります)

当日に初診受付にて、診察予約をされ、その指定時間に診察させていただきます。

(ご希望の診察時間が、予約できない場合があります)

診察



入院



検査

紹介状持参の患者様には、かかりつけ医へ診療・検査結果の報告

症状の改善および検査が終了すれば、かかりつけ医へ逆紹介

■ 医療費のお支払いにクレジットカードとiDデビットカードをご利用いただけます。

診療費や診断書など各種医療費のお支払いに、クレジットカードと後払い電子マネー「iD」デビットカードがご利用いただけます。

利用可能なクレジットカード

● VISA

● MasterCard

● JCB

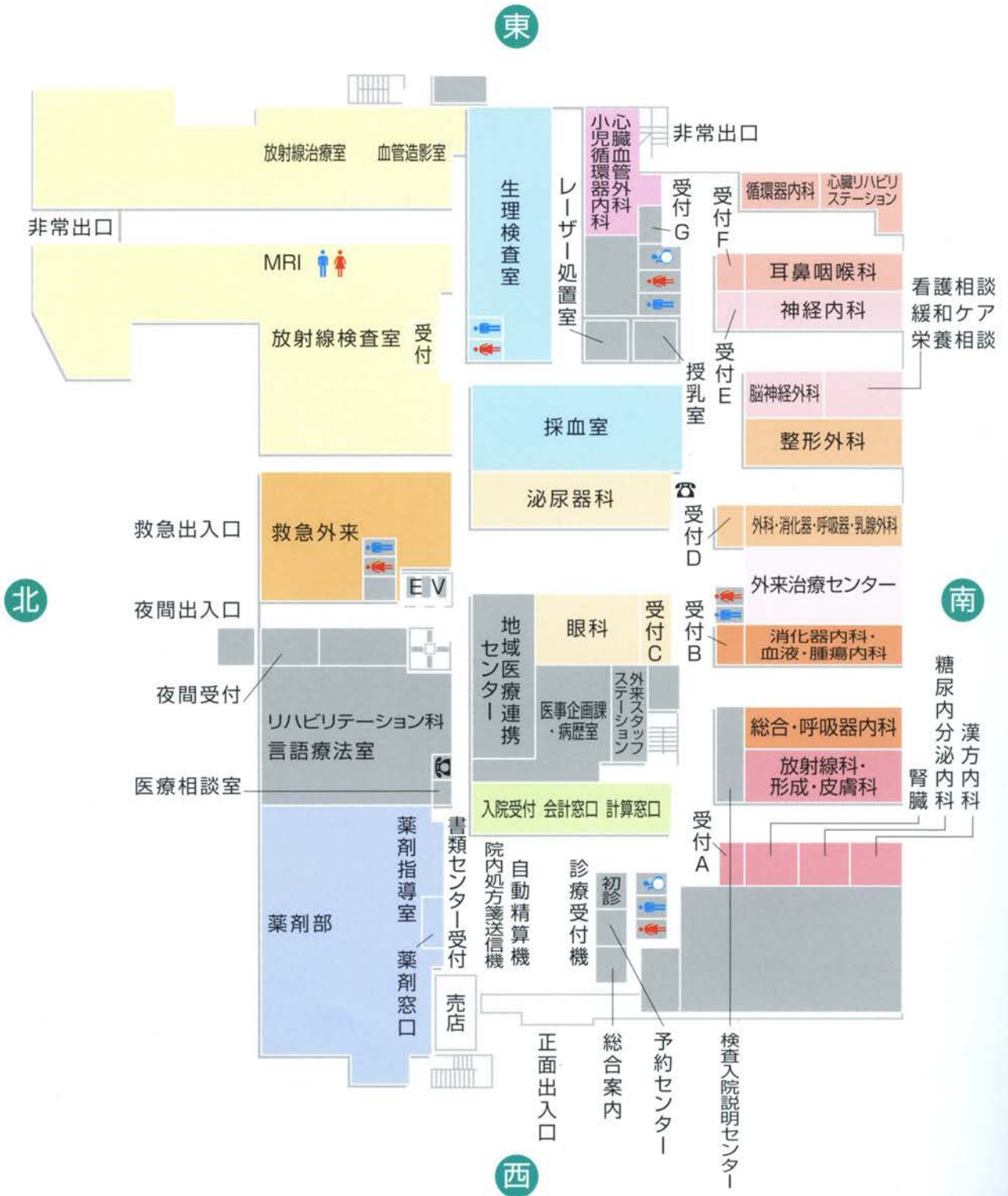
● AMEX

● Dinersclub

● デビットカード



7 1階外来案内図



8 地域医療連携センターからのご案内

平成27年の兵庫県立尼崎総合医療センター(仮称)開院、および、今秋からの阪神医療福祉情報システム(h-Anshinむこねっと)の稼働により、阪神間の医療連携は、この2年間で大きく変わろうとしています。

地域医療連携センターの理念

地域医療連携センターでは、阪神間の地域医療機関とともに医療連携をおこないながら、地域住民のLife Stage【“生まれる”→“育つ”→“暮らす”→“死ぬ”】を支える医療を皆様に提供します。

途切れない地域に密着した医療連携を目指した提案

近年、その地域の基幹病院、民間病院、診療所など個々の医療機関が、それぞれの医療機能に応じ役割分担をおこないながら、地域に密着した途切れない継続医療を患者様に提供できる医療環境(地域内完結型医療)を整える必要性が求められています。

提案1. 三人の主治医で支える地域医療

県立尼崎病院では、患者様が、下記の三人の主治医を持たれることを提案しています。

- 急性期・専門医療をおこなう「当院の主治医(専門医師)」
- 慢性期医療や在宅療養を担う「近のかかりつけ医(ホームドクター)」
- ちょっとした入院加療や療養・介護入院を提供していただける「療養病床・一般病床・介護施設の主治医」

地域に密着した高度な継続医療を提供するためにも、この三人の主治医が、その時の病状に応じて互いに連絡をとり(円滑な紹介と逆紹介)、各々の役割に適した診療をおこなう医療連携が必要と考えています。

提案2. ICT化医療連携システムを利用した医療情報の共有化

近年、患者様は、複数の医療機関を受診される機会が多くなり、分散した患者様の医療情報をいかに収集し一つにまとめるかが医療機関での大きな課題です。

現在、阪神間では、ICT化を利用した医療機関機能情報および患者診療情報の共有化を目指した阪神医療福祉情報システム(h-Anshinむこねっと)が稼働中です。

尼崎病院では、この“h-Anshinむこねっと”ICTシステムを利用し、医療機関機能情報の共有化による「2次救急医療の応需情報改善」と「逆紹介時の医療機関検索の推進」、および、かかりつけ医との患者診療情報の共有化による「診療情報分散の改善とリアルタイムな情報伝達」を図り、シームレスな医療連携を図ります。

地域医療連携センターの業務

“三人の主治医”の連携、および“h-Anshinむこねっと”での情報開示をお手伝いするのが、我々地域医療連携センターの役割です。

[I] 地域医療機関との医療連携(前方支援)

- 紹介患者様の診察予約受付、セカンドオピニオン相談の受け付け
- 高額医療機器を用いた特殊検査(CT、MRI、内視鏡検査など)の予約受け付け
- 地域医療機関からの緊急患者様に対する診察または入院要請への対応
- 地域医療機関からの入院・転院の相談に関する担当医師への取り次ぎ
- 紹介医への当院で実施された検査結果および診療状況の報告
- 地域先生方の来訪時の対応(開放型病床共同利用を含む)
- “h-Anshinむこねっと”での情報開示

[II] 入院および外来患者様への支援(後方支援と医療相談)

- 入院患者様の退院(転院・在宅療養)の支援
- 外来患者様のかかりつけ医や転院の相談
- 介護保険、社会資源の活用相談と支援
- 医療費や生活費などの経済的問題の相談と支援
- 身体障害や年金の手続きの説明
- 医療安全に関して など



[Ⅲ] 患者様、地域医療機関への医療情報提供(側方支援)

- 阪神医療福祉情報ICTシステム：h-Anshinむこねっと(地域医療機関用)の運用
- 当院の診療情報、院内行事、院内勉強会・研修会・セミナーなどのお知らせ
- 地域医療機関との医療連携バスの作成
- 県立尼崎病院・塚口病院 広報誌「あまが咲だより」の定期発行(毎月)
- 市民健康講座「すこやかセミナー」定期開催(年6回)
- 「県立尼崎病院&県立塚口病院合同地域医療連携懇話会」の定期開催(年2回)

地域医療機関の先生方へ

地域医療機関からの外来・入院診療、検査の依頼、緊急患者の受け入れ、地域医療連携に関するご相談やお問い合わせは、地域医療連携センターを受付け窓口としています。

救急車での搬送を必要とする緊急患者さまの場合は、救急外来担当の看護師が対応しますので、その旨を交換手あるいはセンター対応者にお伝えください。

■ 地域医療機関から紹介受診(診察・検査)の手続き(通常:緊急性のない初診患者様)

A)FAX予約と、B)インターネット予約(H26年7月より“h-Anshinむこねっと”にて再開予定)の2通りの方法があります。

A)FAX予約による手続き

1. 先ずは、「診療予約依頼票」(この案内書の最後またはホームページに掲載)に必要な事項を記入の上、地域医療連携センターまでFAXにてお送りください。(なお、FAX誤送信による個人情報漏洩の関係上、保険証番号ならびに詳細な症状の記載は不要です。病状や診断名は、持参される診療情報提供書の際で結構です。)
2. 地域医療連携センターにて受診日(検査日)の予約日時を決め、折り返し予約日時を記した「診療予約票」、「診療申込書」、および、「検査同意書」など必要な書類をFAX返信します。
3. 患者様に、当院より返信された上記書類を「診療情報提供書(紹介状)」とフィルムなどの資料とともにお渡しください。

B)インターネットを介した診療予約システム

“h-Anshinむこねっと”での診察予約および検査予約もご利用ください。時間受付外や夜間・休日関係なく、24時間いつでも、どこからでも診療予約の取得が可能です。

*“h-Anshinむこねっと”のご利用には、IDとパスワードが必要ですので、尼崎市医師会までお問い合わせのうえ、加入手続きをお願いします。

注意：“h-Anshinむこねっと”のご利用は、尼崎市・西宮市・芦屋市・伊丹市・宝塚市・川西市・三田市の各医師会に加入されている会員に限られます。

◆ もう一つの外来初診診察の予約のしかた

患者様自身により、電話での診察予約が可能です。

初診患者に限り、当院の診察予約センターにて患者様個人が電話で外来診察を予約することも可能です。(検査予約は、できません)

Tel. 06-6482-8181(直通) 受付時間：平日(月～金曜日) 9:00～16:30

*但し、医療情報の継続のためにも、可能な限り、かかりつけ医からの**紹介状を持参**させてください。

■ 患者様の来院時の流れ

1. 来院当日には、下記の書類を揃え持参のうえ、直接、当院正面玄関の「初診受付:地域医療窓口」へお越しください。
①保険証および各受給者証、②紹介状(診療情報提供書)、③ 資料(レントゲン写真など)、④診療申込書(自宅にて記載)、⑤検査同意書など送付された書類(自宅にて記載)
2. 手続き後、各診療ブロックまたは検査室へご案内します。
3. 診察・検査終了後に、検査結果や診療報告などの返事が、ご紹介の先生へ直接郵送されます。

■ 地域医療機関からの当日緊急の診療依頼の場合

【平日の時間内】

●救急車にて搬送する緊急患者の場合

地域医療連携センターは介入せず、**直接、救急外来部**にて対応します。

尼崎病院交換台(06-6482-1521)にて、「救急車での搬送」をお伝えください。

→救急担当看護師が対応しますので、受け入れOKとなれば、

診療情報提供書を地域医療連携センターへFAX(06-6482-5774)してください。

●救急車を使用しない緊急患者の場合

先ず、地域医療連携センターまでお電話をください。

【平日の時間外および休日・祝日】

当直担当者が、対応させていただきます。



地域医療連携センター長
(地域医療連携部長
兼 消化器内科部長)
齋田 宏



地域医療連携センター課長
(看護師長)
上西 美奈子

域医療連携センターへの連絡先

兵庫県立尼崎病院 地域医療連携センター

〒660-0828 兵庫県尼崎市東大物町1-1-1

TEL.06-6401-5115(直通)、06-6482-1521(代表)

FAX.06-6482-5774(直通)

E-mail. chiiki@alto.ocn.ne.jp

受付時間：平日(月～金曜日) 午前8時45分～午後7時

(FAXは、24時間対応)

平日時間外(午後5時半以後)、土・日曜日、祝日で、緊急診療を要する場合には、救急外来(当直業務)での対応となります(TEL:06-6482-1521代表)。

スタッフ

- 齋田 宏：地域医療連携センター長(地域医療連携部長)
- 上西美奈子：地域医療連携センター課長(看護師長)
- 松本 恵：退院調整看護師(看護師長補佐)
- 岸 幸恵：退院調整看護師
- 大中 湖月：退院調整看護師
- 増子 由美：退院調整看護師
- 植杉 敦子：ソーシャルワーカー(社会福祉士)
- 山下奈緒子：ソーシャルワーカー(社会福祉士)
- 中村 由朗：ソーシャルワーカー(社会福祉士)
- 菅田 亜弥：ソーシャルワーカー(社会福祉士)
- 岡田 浩詞：ソーシャルワーカー(社会福祉士)
- 合田 容子：前方支援事務員
- 橘 優郁子：前方支援事務員
- 裕口 恵子：前方支援事務員
- 小山 真理：前方支援事務員
- 森岡 清美：前方支援事務員



9 診療科の紹介

ER総合診療科

概要と特色

尼崎病院に総合診療科ができてから6年が、そして救急も担当するER総合診療科となって3年が過ぎました。スタッフ数も初期の3名から11名と増員となり、H25年度より日本救急医学会 救急科専門医指定施設の認定を取得し、さらに救急部門の充実を図りたいと思っています。

専門科への紹介状をお持ちの方や、症状から受診される科がはっきりしている方は直接専門科外来を受診していただけますが、何科を受診すればよいかわからない方や全身的なチェックを受けたい方はER総合診療科を受診していただけます。検査を進めていくなかで専門科の診察が必要と判断した時には、もっとも適した専門科を紹介することになります。お困りのことがあればER総合診療科を紹介して下さい。

感染症を中心とした総合診療を行っています。緩和ケアや救急医療も当科が担当する大切な部門です。がん診療は行っていませんが、総合診療医として緩和ケアの技術は必須と思っています。当科のスタッフは緩和ケアチームに所属しており、がん緩和ケア認定看護師と共にチームに依頼のあった他科の入院患者様を必要に応じて担当します。救急部門ではCPA患者を含めて、専門性がはっきりしない患者の初期対応と引き続いての入院治療を行っています。

新病院ではER総合診療科と救急科のスタッフが専従医として救命救急センターでの初療を担当します。入院が必要な患者は各専門科あるいはER総合診療科が引き続き入院治療を行います。総合診療科の外来も現在の2診から3診と処置室が増えることにより患者さまにより丁寧な診察ができると思います。

姉妹病院提携を結んだ公立豊岡病院とは、人事交流や月1回のウェブカンファレンスを行っています。

2013年度の実績

- 月平均外来患者数：672人(うち新患142人)
- 延べ年間入院患者数：8069人
- 平均在院日数：15.3日

地域医療機関の先生方へ

地域医療の先生方にはいつもお世話になっており有難うございます。当科には高齢者や通院が難しい患者様が多いこともあり、転院や退院後在宅での治療をお願いする割合が高いように思われます。その分紹介していただきました患者様に対しては十分な精査を行って、当科へ紹介して良かったと思っただけのような病診連携に力を入れたいと思っています。担当する疾患は広く、尼崎病院の窓口として是非患者様のご紹介をお願いいたします。



部長(救急担当) 兼
ER総合診療科部長
(ER総合診療科長 感染症内科長)
吉永 孝之



ER総合診療科医長
堀谷 亮介



ER総合診療科医長
豊岡 奈央



ER総合診療科医長
田川 直洋



ER総合診療科医長
山本 修平



ER総合診療科医長
大前 隆仁



ER総合診療科医員
長永 真明



専攻医
野田 健仁



専攻医
生田 武蔵



専攻医
田中 裕



専攻医
山縣 朋浩

外来診療予定表

	月	火	水	木	金
午前	吉永・交替医	豊岡・交替	田川・野田	吉永・山本	堀谷・交替・大前
午後	吉永・交替医	豊岡	田川・野田	吉永・山本	堀谷・山懸

学会認定：日本内科学会認定専門教育病院、日本救急医学会救急科専門医指定施設